

森林環境教育全国シンポジウム
育み、活かし、つなげよう。森林と私たち
森林環境教育が創る森林と人との新しい関係

21世紀を迎え、地球温暖化の防止をはじめとする森林の多様な機能の発揮に対する社会的要請が一層高まる中で、森林での様々な体験活動を通じた森林体験学習、森林ボランティア活動、健康づくりや生きがいの場としての森林の活用など、多様な視点から人々が積極的に森林と関わり、「森林と人との共生」という考え方のもとで森林を上手に育て、活用して行こうとする実践活動が活発化しています。

また、森林の多様な機能を十分に発揮させるためには、「循環型社会」の構築という視点から、適切な森林整備を進めるとともに、先人が築き上げてきた森林の利用と保全を両立させるための知恵や技術の再評価、再生可能な資源である木材の積極的利用など森林と木材の価値の見直しを通じて、森林資源の積極的な循環を促すことが求められています。

今後、地球温暖化防止や生物多様性等に対する森林・林業の果たす役割、森林の利用と保全に関わる知恵や技術の必要性などが「森林環境教育」を通じて広く国民に認識され、森林と人との新しい関係が創造されていく必要があると考えられます。

本シンポジウムは、森林環境教育を実践する各分野の関係者が一堂に会して、その成果と今後の課題を持ち寄り、討議、意見交換を行うとともに、森を育て、活用していく実

- 開催日時** 平成14年11月9日(土)10:30から
11月10日(日)13:00まで
- 開催場所** 千葉県 山武町ふれあいセンター(JR佐倉駅より送迎バス運行予定)
山武町中央公民館
- 参加者** 都道府県・市町村林務担当者、森林組合・林家等の森林・林業関係者
学校教育・社会教育関係者、環境教育事業者、建設・設計関係者
森林づくり・地域づくり・地球環境問題等に取り組む市民や企業
一般参加者等300名
- 内容** 基調プレゼンテーション、分科会、体験プログラム等
分科会テーマ
木の文化を伝える森林環境教育
木材利用と森林環境教育
森林環境教育から見えてくる新時代の林業
生物多様性・環境負荷に配慮した森林環境教育
まちとむらを結ぶ森林環境教育
森林環境教育の教育手法
総合的な学習の時間と森林環境教育
- 主催** 全国森林組合連合会

申込み方法等詳細は、9月上旬にお知らせ致します。

[問合わせ先]

全国森林組合連合会 組織部組織グループ
TEL 03-3294-9717 FAX 03-3293-4726